

令和2年度

事業報告書

及び

決算報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

公益財団法人安城都市農業振興協会

1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年となりました。4月から入園料を改定し、4月6日には花の大温室フローラルプレイスをリニューアルオープンしましたが、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発出を受け、4月11日から5月19日まで臨時休園としました。その後、5月20日に一部営業を開始し、6月1日から通常営業を再開することができました。8月には、BBQガーデン「ピクニック」を新規オープンし、手ぶらで来て地元食材を使ったBBQを楽しんでいただけるようになりました。10月11日には平成9年開園以来の入園者累計1,300万人を達成することができましたが、当初の年度目標であった年間入園者数60万人を大きく下回る40万9千人余となりました。

公益目的事業では、花の大温室フローラルプレイスで、リニューアルフラワーショー等5回のフラワーショーを開催しました。ガーデンルームでは、春のツバキやギボウシ等の企画展を4回実施しました。その他に、地域の産業振興の活性化を図るためのイベントとして11月に「あいち花マルシェ2020」を開催しました。

四季イベントは、4回開催しました。秋穫祭では、恒例の仲秋のあかり祭を例年より長い6日間実施し、多くの方が来園されました。ウィンターフェスティバルでは、イルミネーションや花火ショーにより幻想的な冬の夜を演出しました。

体験講座では、定例のソーセージ作りやクッキー作りに加え、安城産のいちごを使用したいちご大福作りやアウトドア体験としてバーベキュー講座を開催しました。

収益事業では、屋外型恐竜展示「ディノランド」の管理運営や企画展の「恐竜3Dワールド展」、「アルプスの少女ハイジ展」、「シルバニアファミリー展」、「くまのがっこう展」を開催し、併せて関連するグッズなどの販売を実施しました。

以上の結果、経常収益は、市の休園補償費や国の持続化給付金等の交付もありましたが、前年度に比べ1,087万円余減の6億4,638万円余となりました。

経常費用では、事業計画を大幅に見直すことにより経費節減に努め、2,626万円余減の6億4,452万円余となりました。

合計しますと、令和2年度は185万円余の増益となり、正味財産期末残高は、2億2,581万円余となりました。

令和3年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、関係諸機関の協力を得ながら、職員一丸となり、デンパークがさらに魅力あふれる公園となるよう取り組んでまいります。

2 理事会の開催

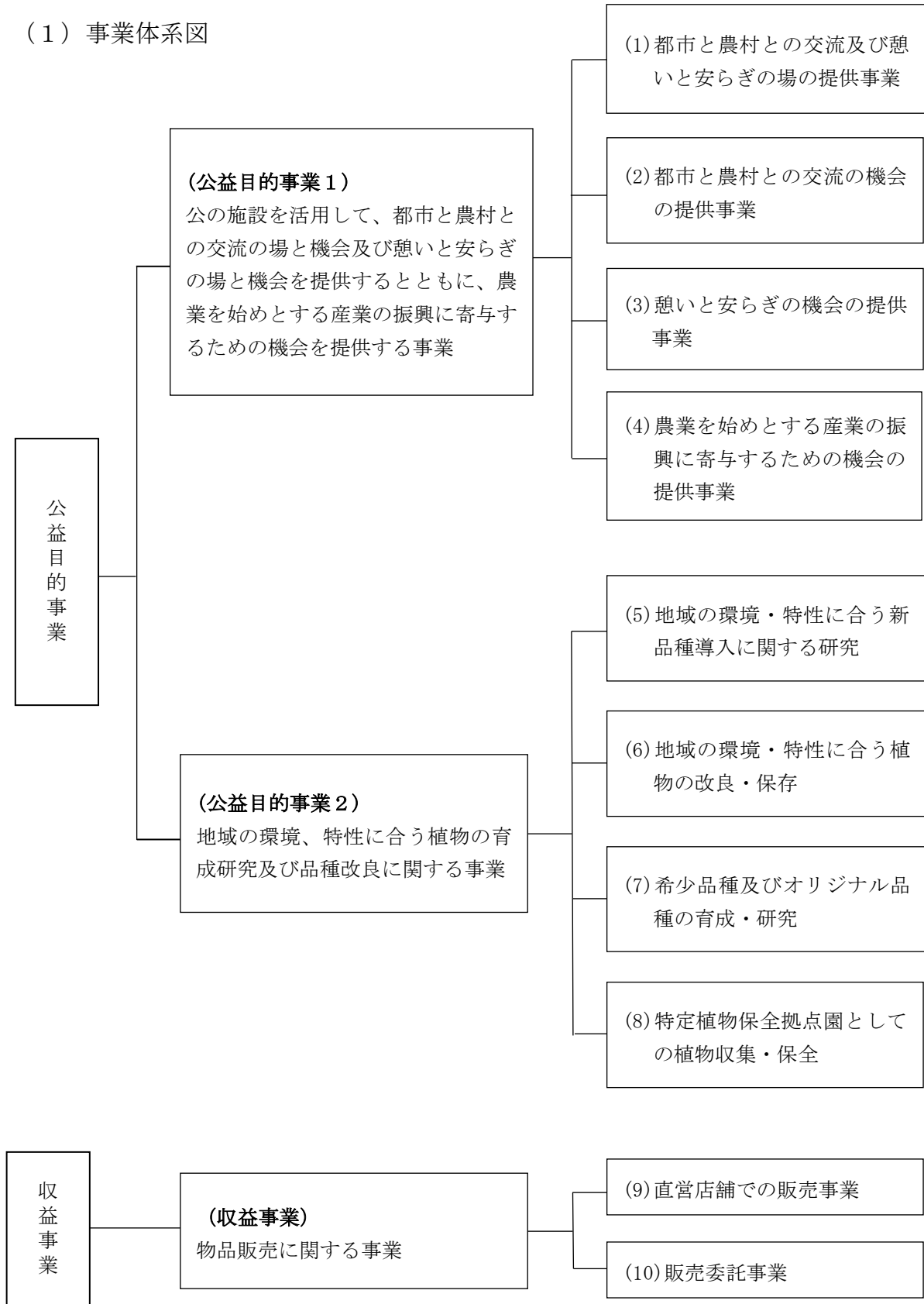
開催年月日	議 事	備考
令和2年 5月14日	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算について 第2号議案 令和2年度第1回評議員会招集について (決議省略によるもの)	可決 可決
令和2年 9月18日	第3号議案 令和2年度補正予算(第1号)について 第4号議案 令和2年度第2回評議員会招集について (決議省略によるもの)	可決 可決
令和2年11月30日	第5号議案 公益財団法人安城都市農業振興協会職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 第6号議案 公益財団法人安城都市農業振興協会職員のハラスメント防止等に関する規程の制定について (決議省略によるもの)	可決 可決
令和3年 2月19日	第7号議案 令和2年度補正予算(第2号)について 第8号議案 令和3年度事業計画及び収支予算等について 第9号議案 令和2年度第3回評議員会招集について (決議省略によるもの)	可決 可決 可決

3 評議員会の開催

開催年月日	議 事	備考
令和2年 5月29日	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算について 第2号議案 監事の選任について 第3号議案 評議員の選任について (決議省略によるもの)	可決 可決 可決
令和2年10月 9日	第4号議案 監事の選任について 第5号議案 評議員の選任について (決議省略によるもの)	可決 可決
令和3年 3月19日	第6号議案 監事の選任について	可決

4 事業実績

(1) 事業体系図



4 (2) 事業別実績

(1) 都市と農村との交流及び憩いと安らぎの場の提供事業 (公益目的事業1)

目的		指定管理者として受託した安城産業文化公園及び道の駅デンパーク安城を広く市民に提供し、都市と農村との交流及び憩いと安らぎの場を安定的に確保して、潤いとゆとりのある快適な社会環境を体感、体験することによって、地域社会の健全な発展を目指す。	
区分	担当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実績
公園内の樹木、芝生及び建物等の管理	緑地係	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある植栽エリアへリニューアル 1箇所 (サマースノーボーダー) 植物名のラベル作成、取付け (年間100枚) 品種不明植物の調査及びラベル作成、取付け (年間20枚) 	<ul style="list-style-type: none"> 中止。次年度改修計画案の作成終了 樹名板の作成・設置 103枚 不明植物の調査実施 20種類判明 (ラベル取付済み)
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> 施設の保守点検、樹木及び芝生の適正維持管理等 建物及び設備の老朽化対策 <u>ヨーロッパ風花壇園路改修等修繕に係る工程の調整及び安全対策</u> <u>トイレ洋式化及び中水配管ループ化実設計の支援</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地管理、駐車場管理、施設保守点検等 (遊具、電気、汚水処理施設など) 【園路改修】 園路改修等を長期休園中に施工できるように調整を実施 施工時には案内看板等の安全対策を実施し、事故やトラブル無く修繕を完了 【トイレ洋式化・中水配管】 市農務課、施設保全課と設計内容の打合せ及び現場確認を実施 市の実施計画及び令和3年度当初予算に要求し、採択される。
		<ul style="list-style-type: none"> ジャブジャブ池水遊び場の水質管理 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理を実施 水質検査 (業者) 5回/年 消毒検査 (直営) 2回/日 池底高圧洗浄 7回/年
道の駅の管理	施設係	<ul style="list-style-type: none"> 施設の保守点検等 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施
		<ul style="list-style-type: none"> <u>道の駅運営改修等検討業務の支援</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 財団の考えを農務課及び委託業者との意見交換会や勉強会に参加し提案
屋外花壇、見本園及び大温室等の花展示の設計施工管理	緑地係	<ul style="list-style-type: none"> 【見本園の管理】 見本園 (ナシ、ギボウシ、サルビア等) の維持管理 トピアリーの作成管理 1年草花壇の設計、管理 	<ul style="list-style-type: none"> 見本園 (ナシ、ギボウシ、サルビア等) の維持管理 トピアリーの作成管理 1年草花壇の設計、管理
		<ul style="list-style-type: none"> 【花の大温室でのフラワーショーの開催】 リニューアルフラワーショー 4/ 1～ 6/ 1 トロピカルフラワーショー 6/ 6～ 9/28 ハロウィンフラワーショー 10/ 3～11/16 クリスマスフラワーショー 11/28～ 1/24 スイートフラワーショー 2/ 3～ 3/31 	<ul style="list-style-type: none"> 一部計画変更して実施 リニューアルフラワーショー 4/ 6～ 4/10 トロピカルフラワーショー 6/ 1～ 9/28 ハロウィンフラワーショー 10/ 3～11/16 クリスマスフラワーショー 11/28～ 1/17 スイートフラワーショー 1/27～ 3/31

屋外花壇、見本園及び大温室等の花展示の設計施工管理	緑地係	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンルームの特別展示（6回） 「シザンサス展」、「<u>ハーブ展</u>」、 「ギボウシ展」、「水生植物展」、 「コリウス展」、「ツバキ展」 ・ガーデンルームの企画展示（2回） ウインターガーデン、スプリングガーデン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンルームの特別展示（4回） 「シザンサス展」、「ハーブ展」は、 中止 「ギボウシ展」、「水生植物展」、「 コリウス展」は、予定どおり開催 「ツバキ展」は、規模を縮小して開催 ・ガーデンルームの企画展示は、中止
		<ul style="list-style-type: none"> ・植物の見ごろに合わせた植物情報の提供 見ごろの植物説明パネル設置50回 (内新規設置10回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見ごろパネルを年53回設置（うち新規 パネル設置10回）
		<ul style="list-style-type: none"> ・花壇や温室展示のコンセプトを伝える現地表示 屋外花壇は12回、温室は12回 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外花壇は、12回実施 ・温室は、9回実施
公園の運営	運営企画係	<ul style="list-style-type: none"> ・広告宣伝方法の見直し(愛知県内全域を カバーできる宣伝方法) 新聞折込広告中心から情報誌等への転 換 	<ul style="list-style-type: none"> ・西三河情報誌「chao」 10月、12月、4月号掲載 ・東三河情報誌「はなまるプラス」 12月、4月号掲載 ・子どもとお出かけ情報サイト 「いこーよ」 8月～1月掲載
		<ul style="list-style-type: none"> ・多言語案内マップ作成 外国人来園者増加に対応（案内マップ の多言語版を作成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か国語5言語（英語、ポルトガル語、 韓国語、中国語（簡体・繁体））の案内 マップ作成し、4月から正面ゲート及び東 ゲートで配布
		<ul style="list-style-type: none"> ・入園業務全般のIT化推進 チケット発券から売上集計まで一連業 務を調査し次のステップを踏まえた機器 の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・チケット発券のキャッシュレス化の情報 収集の実施 ・業者と導入に向けた検討の実施
		<ul style="list-style-type: none"> ・企業、各種団体の積極的な誘致 企業等の周年、福利厚生イベント及び 展示会等での利用を提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・碧海信用金庫70周年イベント：中止
		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>集客イベント内容の見直し</u> ステージショーを中心とした集客から 参加型イベントへの移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ体験イベント 3/25～31 (昆虫迷路、バンジートランポリン、セ グウェイ、スラックライン)
		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>集客力のある帯イベントの開催</u> ステージイベントのない平日でも来て いただけるような帯イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜3Dワールド展 6/1～11/8 ・アルプスの少女ハイジフェスタ 11/20～1/17 ・シルバニアファミリー ポップアップパ ーク 2/3～3/8 ・くまのがっこう ジャッキーマーケット 3/13～3/31
	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用屋内遊戯施設「あそぼ～ネ」の 運営 公園の開園時間に合わせた利用時間の 延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・あそぼ～ネ利用者数 15,145人 入場制限（定員の50%）をして実施 ・四季イベント等で夜間開園する際、利用 時間を1時間延長
	事業係	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>クレジットカードおよび電子マネー決 済の導入</u> お客様の利便性向上及び業務効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の大温室内3店舗及び帯イベントの物 販で導入
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>園内の暑熱対策</u> <u>花の大温室内の空調運転方法の検討</u> <u>ジャブジャブ池の日陰対策の推進</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季における温室内外の温度及び使用光 熱費の調査を行い、運転条件等を作成 ・池南側にテント3張り設置。加えて、仮 設の日除けを鉄砲山側に設置

(2) 都市と農村との交流の機会の提供事業（公益目的事業1）

目的		安城産業文化公園及び道の駅デンパーク安城を活用し、都市農業の振興と市民園芸の普及のための各種事業を提供することにより、都市と農村との交流の機会の充実を図り、潤いとゆとりのある快適な社会環境の体感、体験を通して、地域社会の健全な発展を目指す。	
区分	担当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実績
交流をより促進するための季節イベントの開催	運営企画係	【四季イベントの開催】 ・フラワーフェスティバル 4/ 1～ 5/ 6 目標集客：100,000人 ・サマーフェスティバル 7/18～ 8/31 目標集客：70,800人 （早朝ハスマつり 7/23～26 目標集客：7,500人含む。） ・秋穫祭 9/19～11/ 3 目標集客：101,100人 （仲秋のあかり祭 9/19～22、25、26 目標集客：35,000人含む。） ・ウィンターフェスティバル 12/ 5～ 1/24 目標集客：102,800人 ・フラワーフェスティバル 3/13～ 3/31 目標集客：44,800人	・フラワーフェスティバル 4/ 1～ 4/10 入園者数：5,072人 4/11～ 臨時休園 ・サマーフェスティバル 7/18～ 8/31 入園者数：40,789人 （早朝ハスマつり：中止） ・秋穫祭 9/19～11/ 3 入園者数：88,590人 （仲秋のあかり祭り入園者数：33,543人） ・ウィンターフェスティバル 12/ 5～ 1/17 入園者数：89,588人 ・フラワーフェスティバル 3/13～ 3/31 入園者数：33,924人
		【各種コンテストの開催】 ・ガーデニングコンテスト 5/20～ 6/ 1 目標応募数：80点 ・フォトコンテスト 目標応募数：300点 ・四季を詠む俳句コンテスト 目標応募数：1,500点	・ガーデニングコンテスト：中止 ・フォトコンテスト 応募総数：128点 ・川柳コンテスト 応募総数：291点
		【その他イベント】 ・メーデーフェスタ 5月 ・田んぼアート鑑賞会（無料開園） 7月 ・安城市民デンパーク駅伝（無料開園） 2月 ・ <u>恋人の聖地を活かしたイベントの実施</u> バレンタインフェスティバル 2/ 6～ 2/14 目標集客：15,800人	・メーデーフェスタ：中止 ・田んぼアート鑑賞会：中止 ・安城市民デンパーク駅伝：中止 ・バレンタインフェスティバル 1/30～ 2/14 入園者数：16,999人

交流をより促進するための体験講座等の開催	事業係	<ul style="list-style-type: none"> ・定例講座の開催 平日集客に寄与する、新講座開催及び新規受講者獲得 自然を活用したアウトドア体験講座（バーベキュー、アウトドア料理等）の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例講座の開催 12講座 57回 参加人数 延べ434人 ・アウトドア体験 バーベキュー講座 3/1 参加人数 4人
	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>幼児、児童向けの体験プログラム及びイベントの実施</u> あそぼ～ネで親子で楽しめる機会を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・人との距離を置く必要があり中止
	事業係	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>パーソナルモビリティを活用した園内ガイドツアーの開催</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルモビリティの発売が遅れたため中止
	運営企画係・緑地係	<ul style="list-style-type: none"> ・花とみどりで囲まれたエリアで期間限定の飲食ゾーンの設置 (100人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいち花マルシェの期間、温室内「カフェ&ブロムスター」を花とみどりで装飾 11/20～11/23 利用者数：計1,167人 ・ウィンターフェスティバルの期間、水のステージ前広場に光る机とイスの設置 12/ 5～ 1/17 5テーブル 20席設置
	緑地係	<ul style="list-style-type: none"> ・団体（学校、企業、公共施設等）に向けた緑化指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸アカデミー講習 1団体1回開催

(3) 憩いと安らぎの機会の提供事業（公益目的事業1）

目的		安城産業文化公園及び道の駅デンパーク安城を活用し、花とみどりとふれあいなど自然に親しむことにより、憩いと安らぎの機会を安定的に確保して、潤いとゆとりのある快適な社会環境の体感を通して、地域社会の健全な発展を目指す。	
区分	担当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実績
展示会の開催	運営企画係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 春の山野草展 ・ 9月 あかりアート展 ・ 10月 秋の山野草展 ・ 11月 菊花展 ・ 1月 新春ハンギングバスケット作品展 ・ 2月 フォトコンテスト優秀作品展 ・ その他随時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の山野草展 中止 ・ あかりアート展 9/19～ 9/27 ・ 秋の山野草展 中止 ・ 菊花展 11/ 5～11/ 9 ・ アートフラワー展 11/11～11/16 ・ 新春ハンギングバスケット作品展 1/ 2～ 1/11 ・ フォトコンテスト優秀作品展 2/17～ 3/ 1 ・ 愛知県環境局イベント 10/11
花とみどりに 関する情報発信 と交流する機会 を提供	運営企画係・ 緑地係	・ <u>クリスマスガーデニングコンテストの開催</u>	・ クリスマスガーデニングコンテスト 12/ 2～12/27 応募総数：11点
	事業係 緑地係	・ 初心者向け園芸講座の開催	・ 地元農産物を使用したブリコラージュ教室を2日間開催 2/17・22 参加人数：11人
	緑地係	・ 園内植物ガイド実施（40人）	・ 6回計画中、5回開催 合計42人の参加
		・ 珍しい植物・話題性のある未公開の植物の展示準備	・ 50種類60回の植物を展示（3種類が初公開） ①ナルキッスス・ビリディフロルス ②バルバセニア・プルプレア ③ラウヒア・ムルチフローラ
		・ 子どもを対象とした園芸講座及び教育プログラムの実施 4回	・ 8月が中止となり3回実施

(4) 農業を始めとする産業の振興に寄与するための機会の提供事業（公益目的事業1）

目的		安城産業文化公園及び道の駅デンパーク安城を活用し、農業を始めとする地元産業の振興に寄与するための機会を提供することにより、地域社会の健全な発展を目指す。	
区分	担当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実績
地域の産業振興の活性化を図るためのイベントの開催	運営企画係他	・ 4月 地元花き農家によるフラワーマーケット開催	・ フラワーマーケット 中止
		・ 11月 JAまつり共催	・ JAまつり 中止
		・ <u>11月（仮称）あいち花マルシェ2020開催</u>	・ あいち花マルシェ2020 11/20～11/23 入園者数：25,012人
		・ 2月～3月 安城農林高等学校実習梅園の一般公開	・ 安城農林高等学校実習梅園公開 2/13～3/12
		・ 地元企業等の展示会 企業の新製品等を宣伝する場の提供	・ 名古屋トヨペット展示会 10/17～10/18
地元農産物を使用し、その良さを知っていたく契機となる体験教室の開催	事業係	【通年開催】 ・ 県内産の豚肉を使ったソーセージ体験教室の開催 目標体験者数：5,500人	(参加者数を50%以内に制限して実施) ・ ソーセージ体験教室 参加人数：245人
		・ 県内産小麦粉を使ったクッキー作り体験教室の開催 目標体験者数：13,000人	・ クッキー作り体験教室 参加人数：8,416人
		・ 県内産の豚肉を使ったソーセージ入りパン作り体験教室の開催 目標体験者数：9,000人	・ パン作り体験教室 参加人数：2,491人
		【随時開催】 ・ 当日募集型「ソーセージ作り体験教室」の開催 目標体験者数：500人	・ 当日募集型ソーセージ体験教室 中止
		・ 四季イベントに連動した「期間限定クッキー作り体験教室」の開催 目標体験者数：3,000人	・ 期間限定クッキー作り体験教室 参加人数：884人
・ 地元農産物を使用した新しい体験教室の開催（どら焼き、スイートポテト等） 目標体験者数：100人	・ いちご大福作り体験教室 安城産のいちごを使用 2/20・21・23 参加人数：248人		
・ 地元栽培農家を講師とした園芸教室の開催 目標体験者数：50人	・ 親子で体験！寄せ植え教室 11/21 参加人数：20人		

(5)～(8) 植物の育成と研究事業（公益目的事業2）

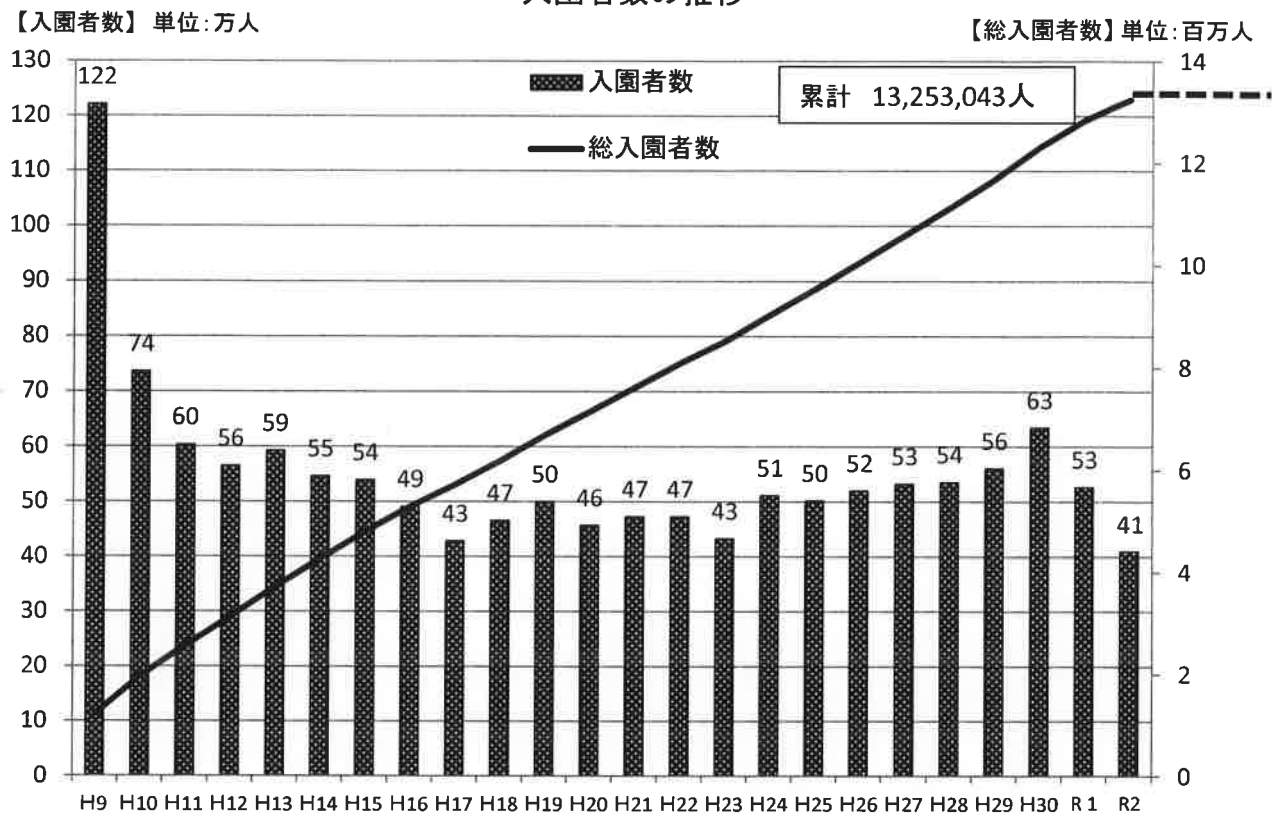
目 的		市民園芸の普及を図り、花とみどりのまちづくりに資するため、また、農業の振興に寄与するために、地域の環境、特性に合う植物の育成研究及び品種改良に関する事業を実施することにより、地域社会の健全な発展を目指す。	
区 分	担 当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実 績
地域の環境・特性に合う新品種導入に関する研究	緑地係	・新品種育成の取組と植物の公開（5品種）	・一年草花壇で5品種を現地花壇でラベルを設置し公開
地域の環境・特性に合う植物の改良・保存		・デンパークで植栽実績のある優良品種をまとめ、公開（樹木公開、1年草まとめ）	・公開予定の樹木写真などデータ作成中で未公開
希少品種及びオリジナル品種の育成・研究		・シザンサス4品種の採種と系統保存を実施	・8品種の採種を実施
特定植物保全拠点園としての植物収集・保全		・エキウムの交配種の保存、ブルーアマリス及びシヨクダイオオコンニャクの育成と開花調査	・エキウム2品種の採種 ・ブルーアマリス開花し展示（10/21～27） ・シヨクダイオオコンニャクの育成状況をブログで発信
		・特定植物保全拠点園としてサルビア属、ガマズミ属、ヒイラギナンテン属、ギボウシ属の収集、保全及び展示	・サルビア属：株分け更新を実施。フローラルプレイスにて11種類40株を展示 ・ガマズミ属：保全、屋外にて展示 ・ヒイラギナンテン属：保全、屋外にて展示 ・ギボウシ属：株分け更新を実施。新規に1品種導入。ガーデンルームで特別展示を行い80種を展示

(9) (10) 物品販売に関する事業（収益事業）

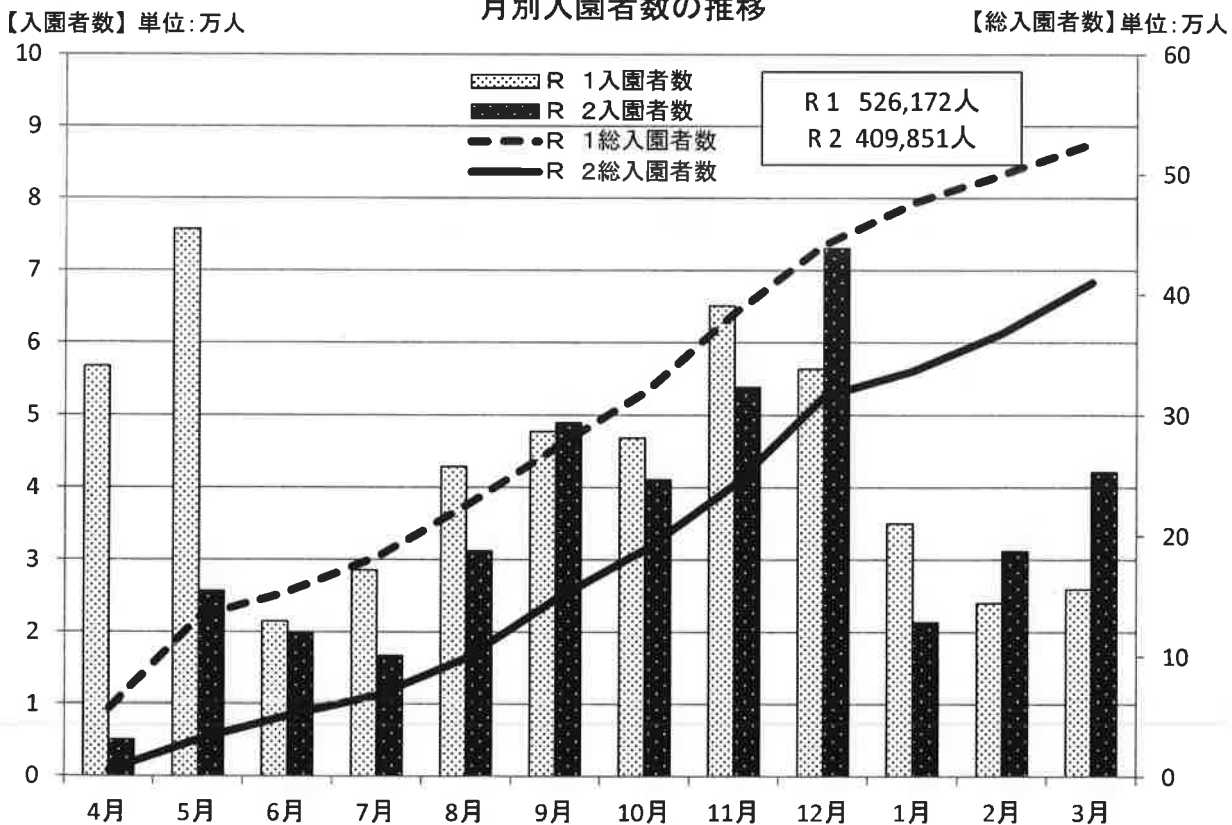
目的		デンパーク内の施設を最大限に生かし、多様な利用者のニーズに応えるため、直営店舗、自動販売機、販売委託(移動販売事業者)、催事企画による販売などデンパークの魅力を高める収益事業を実施する。実施に当たっては、「買う楽しさ」の場を提供することで、入園者の増加にもつながる事業とする。	
区分	担当	主な計画や取組等 ※新たな取組には下線あり	実績
直営店舗での 販売事業		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>花の大温室にて飲食店舗の運営</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・協会初の飲食店舗「カフェ&ブロムスター」 6月オープン 地元農産物を使ったデンパークオリジナルのデンバーガー、いちじくかき氷、いちごのクリームチーズタルト等を販売 キャラクターの企画展とタイアップしたメニューも販売 年間売上：11,000千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>「恋人の聖地」のモニュメントを活用した販売事業の実施</u> デンマーククローネコイン（ハート入り）の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の大温室にあるしあわせの塔「リュッケ」の1階に「幸せの泉」を設置し、デンマークのクローネコイン（ハートの刻印入り）を投げ入れる体験を実施 体験メニューでのクローネコイン使用 使用枚数：83枚 クローネコイン販売枚数：382枚
販売委託事業	事業係	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある催事企画による販売（「アルプスの少女ハイジ」展、「スヌーピー」展等を計画） 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「恐竜3Dワールド」 6/1～11/8 期間売上：6,345千円 ・企画展「アルプスの少女ハイジ」 11/20～1/17 期間売上：4,755千円 ・企画展「シルバニアファミリー」 2/3～3/8 期間売上：8,831千円 ・企画展「くまのがっこう」 3/13～3/31 期間売上：2,544千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・長期間開催の屋外催事による販売 不思議の森で開催する屋外型恐竜展示「ディノランド」の管理運営を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく恐竜王国「ディノランド」 4/1～2/28 入場者数：43,379人 入場率：12% 3/13～3/31 リニューアルオープン 入場者数：2,799人 入場率：8%
		<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機による飲食物等の販売 設置事業者と集客予測及びイベントの情報を共有し、売切れによる機会損失を減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機実績：4,765千円 ・年間イベント計画に基づき需要予測

5 諸実績の推移

入園者数の推移

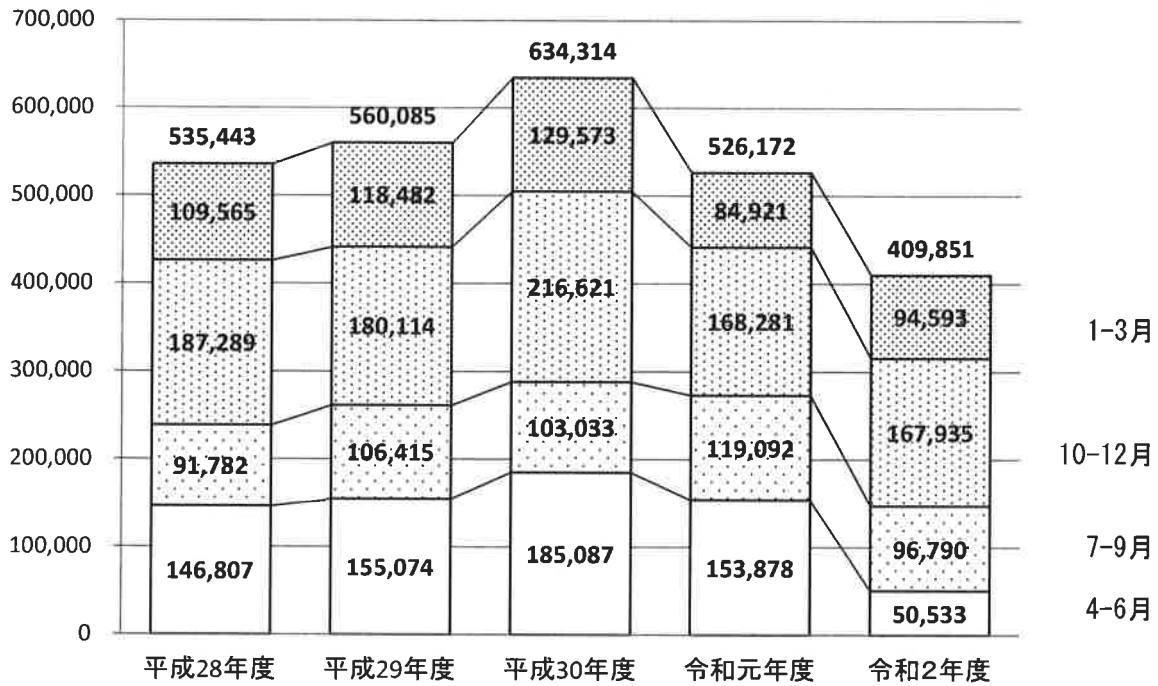


月別入園者数の推移



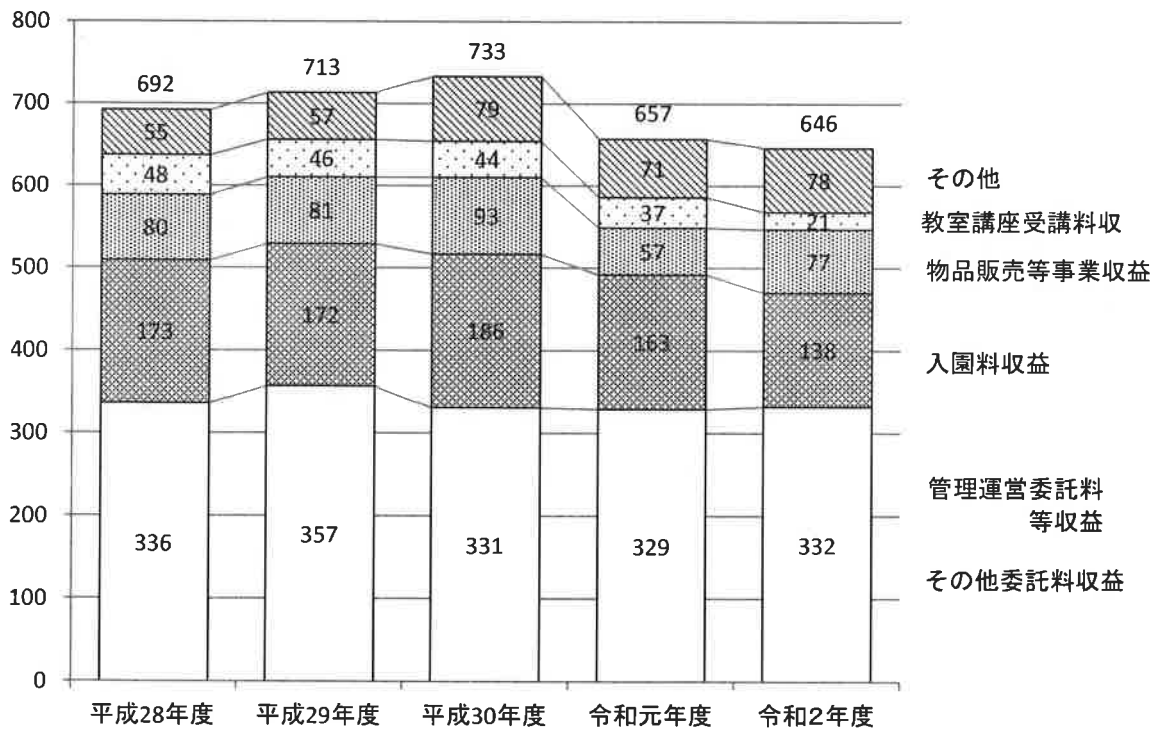
【単位：人】

入園者数の推移(直近5年間)



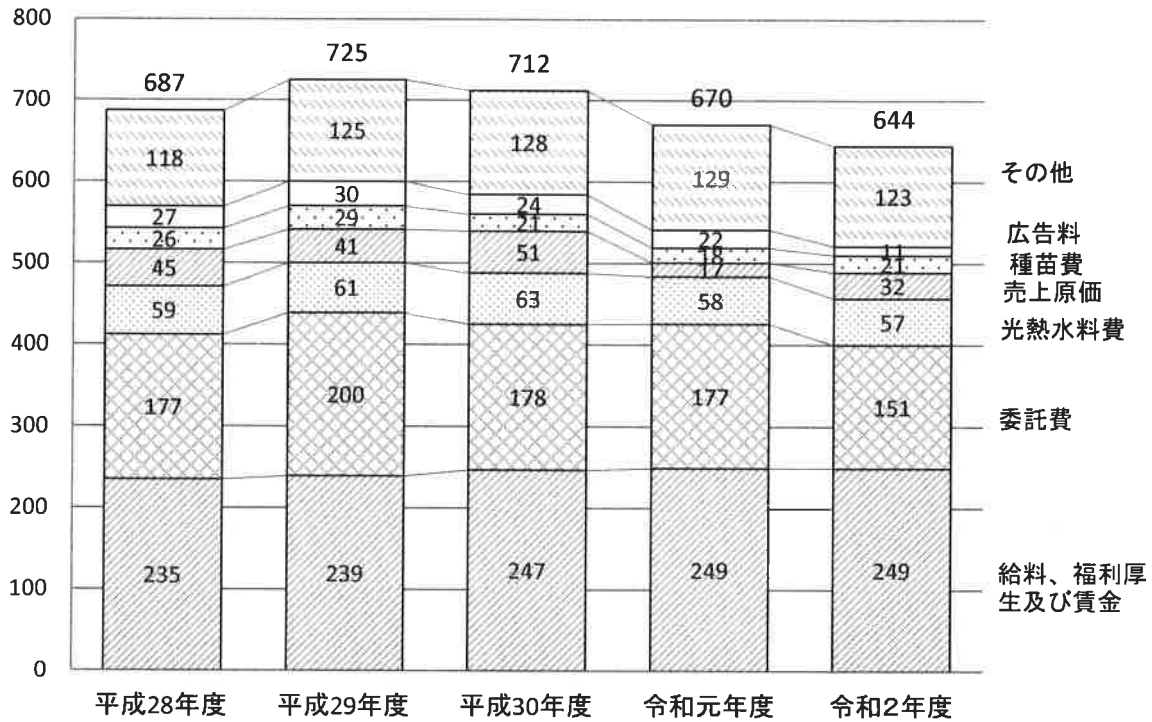
【単位：百万円】

経常収益の推移(直近5年間)



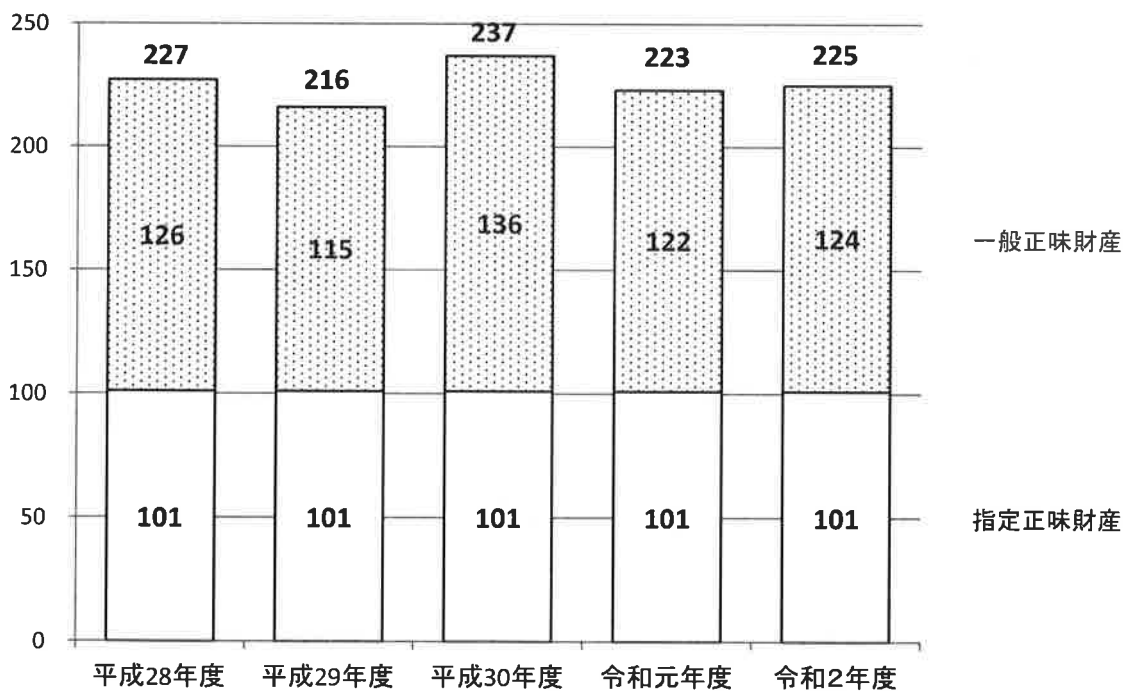
【単位:百万円】

経常費用の推移(直近5年間)



【単位:百万円】

正味財産期末残高の推移(直近5年間)



6 計算書類

1 貸借対照表

令和3年3月31日 現在
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	6,038,406	2,691,590	3,346,816
普通預金	122,500,868	110,047,311	12,453,557
定期預金	80,000,000	80,000,000	0
現金預金合計	208,539,274	192,738,901	15,800,373
商品	3,157,499	5,617,334	△2,459,835
未収金	12,250,372	7,117,552	5,132,820
仮払金	108,700	70,100	38,600
貯蔵品	112,819	165,846	△53,027
流動資産合計	224,168,664	205,709,733	18,458,931
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	101,000,000	101,000,000	0
基本財産合計	101,000,000	101,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	97,369,414	94,459,214	2,910,200
特定資産合計	97,369,414	94,459,214	2,910,200
固定資産合計	198,369,414	195,459,214	2,910,200
資産合計	422,538,078	401,168,947	21,369,131
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	95,222,028	79,027,772	16,194,256
預り金	3,970,970	3,702,151	268,819
前受金	26,800	16,900	9,900
仮受金	136,900	10,728	126,172
流動負債合計	99,356,698	82,757,551	16,599,147
2 固定負債			0
退職給付引当金	97,369,414	94,459,214	2,910,200
固定負債合計	97,369,414	94,459,214	2,910,200
負債合計	196,726,112	177,216,765	19,509,347
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	101,000,000	101,000,000	0
基本財産	101,000,000	101,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(101,000,000)	(101,000,000)	0
2 一般正味財産	124,811,966	122,952,182	1,859,784
正味財産合計	225,811,966	223,952,182	1,859,784
負債及び正味財産合計	422,538,078	401,168,947	21,369,131

2 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
(単位：円)

	科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	① 基本財産運用益	121,534	126,255	△4,721
5	基本財産受取利息	121,534	126,255	△4,721
6	② 特定資産運用益	178,629	285,762	△107,133
7	特定資産受取利息	178,629	285,762	△107,133
8	③ 事業収益	587,576,388	619,220,021	△31,643,633
9	管理運営委託料等収益	332,200,000	331,346,000	854,000
10	指定管理料収益	332,200,000	329,180,000	3,020,000
11	イベント受託収益	0	2,166,000	△2,166,000
12	施設利用等収益	155,888,151	192,172,361	△36,284,210
13	入園料収益	138,018,001	163,290,114	△25,272,113
14	研修室等利用料収益	387,300	1,569,097	△1,181,797
15	遊戯施設利用料収益	17,482,850	27,313,150	△9,830,300
16	教室講座受講料収益	21,542,420	37,715,126	△16,172,706
17	教室講座受講料収益	21,542,420	37,715,126	△16,172,706
18	物品販売等事業収益	77,945,817	57,986,534	19,959,283
19	販売事業収益	57,766,372	27,412,849	30,353,523
20	販売委託等事業収益	16,275,228	30,573,655	△14,298,427
21	雑収益	3,904,217	30	3,904,187
22	④ 運営協力金等収益	7,124,022	12,258,024	△5,134,002
23	テナント運営協力金収益	6,833,022	11,365,259	△4,532,237
24	その他協力金収益	291,000	892,765	△601,765
25	⑤ 雑収益	51,385,844	25,370,410	26,015,434
26	雑収益	51,385,844	25,370,410	26,015,434
27	経常収益計	646,386,417	657,260,472	△10,874,055
28	(2) 経常費用			
29	① 事業費	633,891,968	658,224,898	△24,332,930
30	諸謝金	1,455,700	2,010,488	△554,788
31	給料手当	128,524,630	133,357,810	△4,833,180
32	福利厚生費	31,940,465	29,395,417	2,545,048
33	臨時雇賃金	82,293,865	79,554,757	2,739,108
34	被服費	2,146,519	1,681,180	465,339
35	旅費交通費	169,510	262,790	△93,280
36	消耗品費	15,195,696	19,781,925	△4,586,229
37	消耗器具備品費	887,420	0	887,420
38	光熱水料費	56,844,638	57,835,721	△991,083
39	燃料費	837,696	1,073,349	△235,653
40	原材料費	19,747,938	19,397,880	350,058
41	肥料農薬費	1,145,718	974,323	171,395
42	種苗費	20,950,592	17,926,185	3,024,407
43	印刷製本費	4,186,520	8,309,759	△4,123,239
44	集客促進費	91,216	0	91,216
45	通信運搬費	829,367	1,483,378	△654,011
46	保険料	1,163,800	1,101,910	61,890
47	広告料	10,667,219	22,482,222	△11,815,003

	科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
48	手数料	2,312,334	1,772,686	539,648
49	委託費	151,683,563	176,519,807	△24,836,244
50	修繕費	14,411,963	16,340,052	△1,928,089
51	使用料及び賃借料	3,634,287	4,642,962	△1,008,675
52	租税公課	28,546,810	24,115,660	4,431,150
53	負担金	11,173,611	11,400,890	△227,279
54	退職給付費用	10,720,000	9,730,000	990,000
55	売上原価	32,300,731	17,050,527	15,250,204
56	期首商品棚卸高	5,617,334	3,372,360	2,244,974
57	当期商品仕入高	29,840,896	19,295,501	10,545,395
58	期末商品棚卸高	△3,157,499	△5,617,334	2,459,835
59	雑費	28,840	23,220	5,620
60	交際費	1,320	0	1,320
61	②管理費	10,634,665	12,564,748	△1,930,083
62	役員報酬	52,500	225,000	△172,500
63	諸謝金	406,000	396,000	10,000
64	給料手当	3,530,361	3,849,332	△318,971
65	福利厚生費	2,998,756	2,633,386	365,370
66	被服費	0	6,667	△6,667
67	旅費交通費	0	17,410	△17,410
68	交際費	0	19,944	
69	消耗品費	173,142	368,447	△195,305
70	消耗器具備品費	0	0	0
71	印刷製本費	0	0	0
72	保険料	88,200	88,080	120
73	手数料	106,260	103,951	2,309
74	委託費	1,193,500	2,807,585	△1,614,085
75	使用料及び賃借料	519,696	519,696	0
76	租税公課	2,550	2,550	0
77	負担金	1,262,700	1,256,700	6,000
78	退職給付費用	301,000	270,000	31,000
79	経常費用計	644,526,633	670,789,646	△26,263,013
80	当期経常増減額	1,859,784	△13,529,174	15,388,958
81	2. 経常外増減の部			
82	(1) 経常外収益			
83	過年度修正益	0	456,277	△456,277
84	経常外収益計	0	456,277	△456,277
85	(2) 経常外費用			
86	過年度修正損	0	0	0
87	経常外費用計	0	0	0
88	当期経常外増減額	0	456,277	△456,277
89	他会計振替額	0	0	0
90	当期一般正味財産増減額	1,859,784	△13,072,897	14,932,681
91	一般正味財産期首残高	122,952,182	136,025,079	△13,072,897
92	一般正味財産期末残高	124,811,966	122,952,182	1,859,784
93	II 指定正味財産増減の部			
94	当期指定正味財産増減額	0	0	0
95	指定正味財産期首残高	101,000,000	101,000,000	0
96	指定正味財産期末残高	101,000,000	101,000,000	0
97	III 正味財産期末残高	225,811,966	223,952,182	1,859,784

正味財産増減計算書（内訳表）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
（単位：円）

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公益目的事業1	公益目的事業2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	121,534	0	0	121,534	0	0	121,534
基本財産受取利息	121,534	0	0	121,534	0	0	121,534
② 特定資産運用益	178,629	0	0	178,629	0	0	178,629
特定資産受取利息	178,629	0	0	178,629	0	0	178,629
③ 事業収益	177,430,571	0	321,565,335	498,995,906	77,945,817	10,634,665	587,576,388
管理運営委託料等収益	0	0	321,565,335	321,565,335	0	10,634,665	332,200,000
指定管理料収益	0	0	321,565,335	321,565,335	0	10,634,665	332,200,000
イベント受託収益		0	0	0	0	0	0
施設利用等収益	155,888,151	0	0	155,888,151	0	0	155,888,151
入園料収益	138,018,001	0	0	138,018,001	0	0	138,018,001
研修室等利用料収益	387,300	0	0	387,300	0	0	387,300
遊戯施設利用料収益	17,482,850	0	0	17,482,850	0	0	17,482,850
教室講座受講料収益	21,542,420	0	0	21,542,420	0	0	21,542,420
教室講座受講料収益	21,542,420	0	0	21,542,420	0	0	21,542,420
物品販売等事業収益	0	0	0	0	77,945,817	0	77,945,817
販売事業収益	0	0	0	0	57,766,372	0	57,766,372
販売委託等事業収益	0	0	0	0	16,275,228	0	16,275,228
雑収益	0	0	0	0	3,904,217	0	3,904,217
④ 運営協力金等収益	7,124,022	0	0	7,124,022	0	0	7,124,022
テナント運営協力金収益	6,833,022	0	0	6,833,022	0	0	6,833,022
その他協力金収益	291,000	0	0	291,000	0	0	291,000
⑤ 雑収益	51,385,844	0	0	51,385,844	0	0	51,385,844
雑収益	51,385,844	0	0	51,385,844	0	0	51,385,844
経常収益計	236,240,600	0	321,565,335	557,805,935	77,945,817	10,634,665	646,386,417
(2) 経常費用							
① 事業費	547,980,203	8,217,784	0	556,197,987	77,693,981		633,891,968
諸謝金	1,455,700	0	0	1,455,700	0		1,455,700

科 目	公益目的事業会計				小計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計	
	公益目的事業1		公益目的事業2							共通
	公益目的事業1	公益目的事業2	共通	小計						
31 給料手当	116,808,004	3,782,992	0	120,590,996	7,933,634			128,524,630		
32 福利厚生費	28,449,815	720,403	0	29,170,218	2,770,247			31,940,465		
33 臨時雇賃金	64,345,658	2,062,502	0	66,408,160	15,885,705			82,293,865		
34 被服費	2,027,910	0	0	2,027,910	118,609			2,146,519		
35 旅費交通費	168,310	0	0	168,310	1,200			169,510		
36 消耗品費	13,754,663	72,528	0	13,827,191	1,368,505			15,195,696		
37 消耗器具備品費	0	0	0	0	887,420			887,420		
38 光熱水料費	55,165,199	0	0	55,165,199	1,679,439			56,844,638		
39 燃料費	757,696	80,000	0	837,696	0			837,696		
40 原材料費	14,164,564	299,260	0	14,463,824	5,284,114			19,747,938		
41 肥料農薬費	1,077,573	68,145	0	1,145,718	0			1,145,718		
42 種苗費	20,945,658	4,934	0	20,950,592	0			20,950,592		
43 印刷製本費	4,186,520	0	0	4,186,520	0			4,186,520		
44 集客促進費	0	0	0	0	91,216			91,216		
45 通信運搬費	806,152	0	0	806,152	23,215			829,367		
46 保険料	1,101,310	0	0	1,101,310	62,490			1,163,800		
47 広告料	10,667,219	0	0	10,667,219	0			10,667,219		
48 手数料	1,310,222	0	0	1,310,222	1,002,112			2,312,334		
49 委託費	151,586,543	97,020	0	151,683,563	0			151,683,563		
50 修繕費	12,771,863	0	0	12,771,863	1,640,100			14,411,963		
51 使用料及び賃借料	2,875,644	0	0	2,875,644	758,643			3,634,287		
52 租税公課	23,675,579	0	0	23,675,579	4,871,231			28,546,810		
53 負担金	11,143,611	30,000	0	11,173,611	0			11,173,611		
54 退職給付費用	8,720,000	1,000,000	0	9,720,000	1,000,000			10,720,000		
55 売上原価	0	0	0	0	32,300,731			32,300,731		
56 期首商品棚卸高	0	0	0	0	5,617,334			5,617,334		
57 当期商品仕入高	0	0	0	0	29,840,896			29,840,896		
58 期末商品棚卸高	0	0	0	0	△3,157,499			△3,157,499		
59 雑費	13,470	0	0	13,470	15,370			28,840		
60 交際費	1,320			1,320				1,320		
61 ②管理費								10,634,665		
62 役員報酬								52,500		
63 諸謝金								406,000		

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公益目的事業1	公益目的事業2	共通	小計			
64 給料手当					3,530,361		3,530,361
65 福利厚生費					2,998,756		2,998,756
66 被服費					0		0
67 旅費交通費					0		0
68 交際費					0		0
69 消耗品費					173,142		173,142
70 消耗器具備品費					0		0
71 印刷製本費					0		0
72 保険料					88,200		88,200
73 手数料					106,260		106,260
74 委託費					1,193,500		1,193,500
75 使用料及び賃借料					519,696		519,696
76 租税公課					2,550		2,550
77 負担金					1,262,700		1,262,700
78 退職給付費用					301,000		301,000
79 経常費用計	547,980,203	8,217,784	0	556,197,987	10,634,665		644,526,633
80 当期経常増減額	△311,739,603	△8,217,784	321,565,335	1,607,948	251,836		1,859,784
2. 経常外増減の部							
81 (1) 経常外収益							
82 過年度修正益	0	0	0	0	0		0
83 経常外収益計	0	0	0	0	0		0
84 (2) 経常外費用							
85 過年度修正損	0	0	0	0	0		0
86 経常外費用計	0	0	0	0	0		0
87 当期経常外増減額	0	0	0	0	0		0
88 他会計振替額	0	0	0	0	0		0
89 当期一般正味財産増減額	△311,739,603	△8,217,784	321,565,335	1,607,948	251,836		1,859,784
90 一般正味財産期首残高	0	0	55,846,319	55,846,319	66,105,863		122,952,182
91 一般正味財産期末残高	△311,739,603	△8,217,784	377,411,654	57,454,267	66,357,699		124,811,966
92 指定正味財産増減の部							
93 当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
94 指定正味財産期首残高	0	0	101,000,000	101,000,000	0		101,000,000
95 指定正味財産期末残高	0	0	101,000,000	101,000,000	0		101,000,000
96 正味財産期末残高	△311,739,603	△8,217,784	478,411,654	158,454,267	66,357,699		225,811,966

3 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

平成 25 年度事業から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・移動平均法に基づく原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	101,000,000	0	0	101,000,000
小 計	101,000,000	0	0	101,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	94,459,214	11,021,000	8,110,800	97,369,414
小 計	94,459,214	11,021,000	8,110,800	97,369,414
合 計	195,459,214	11,021,000	8,110,800	198,369,414

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	101,000,000	(101,000,000)	—	—
小 計	101,000,000	(101,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	97,369,414	—	—	(97,369,414)
小 計	97,369,414	—	—	(97,369,414)
合 計	198,369,414	(101,000,000)	—	(97,369,414)

6. 担保に供している資産
該当なし
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
貸倒引当金なし
9. 債務保証等の偶発債務
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし
12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし
14. 関連当事者との取引内容
該当なし
15. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引
大規模法人に該当しないため、キャッシュ・フロー計算書の作成義務なし
16. 重要な後発事象
該当なし

4 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	101,000,000	0	0	101,000,000
小計	101,000,000	0	0	101,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	94,459,214	11,021,000	8,110,800	97,369,414
小計	94,459,214	11,021,000	8,110,800	97,369,414
合計	195,459,214	11,021,000	8,110,800	198,369,414

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付 引当金	94,459,214	11,021,000	8,110,800	0	97,369,414
合計	94,459,214	11,021,000	8,110,800	0	97,369,414

5 財産目録

令和3年3月31日現在
(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 普通預金	手元保管	運転資金	6,038,406
				122,500,868
		あいち中央農協 本店	運転資金	55,288,189
		あいち中央農協 本店	運転資金	38,239,718
		あいち中央農協 本店	運転資金	12,823,933
		あいち中央農協 本店	運転資金	9,878,166
		あいち中央農協 本店	運転資金	6,269,516
	定期預金	碧海信用金庫 本店	運転資金	1,346
		あいち中央農協 本店	運転資金	80,000,000
	未収金	安城市 i・JTB・セブソカット等旅行社 トヨタファイナンス等 ㈱ネクスト等テナント	入園料、体験料の未収分 (公益目的事業)	12,250,372
入園料・教室講座受講料の未収分 (公益目的事業)			6,219,600	
自販機・物販等の未収分 (収益事業)			2,116,902	
運営協力金等の未収分 (公益目的事業)			1,979,706	
			1,934,164	
仮払金	㈱ネクスト等	安城市職員互助会等	108,700	
商品	販売用商品	在庫 (収益事業)	3,157,499	
貯蔵品	収入印紙・切手	公益目的事業	112,819	
流動資産合計				224,168,664
(固定資産)	基本財産 定期預金	あいち中央農協 本店	公益目的事業の保有財産	101,000,000
				101,000,000
	特定資産 退職給付引当資産	定期預金 あいち中央農協 本店 碧海信用金庫 本店	退職給付引当金に見合う引当資産 退職給付引当金に見合う引当資産	97,369,414
				97,369,414
				13,470,940
固定資産合計				198,369,414
資産合計				422,538,078
(流動負債)	未払金	深津園芸株式会社等 退職者1名 ㈱ワック、㈱オーブ等 カミヤ産業㈱等	施設保守点検業務委託等の未払金 (公益目的事業)	95,222,028
			退職金 (退職給付引当金より)	70,002,375
			商品仕入れ、企画展等の未払金 (収益事業)	8,110,800
			勤怠管理システム導入等の未払金 (法人会計)	16,333,645
	預り金	職員、臨時職員等 施設利用者等	所得税・社会保険料等	775,208
			共通商品券	3,970,970
	仮受金 前受金	中央精機株式会社等 ㈱さとふる等	イベント協賛金 (令和3年度分) 等 施設利用料、体験料の予約金	2,256,220
			1,714,750	
			136,900	
			26,800	
流動負債合計				99,356,698
(固定負債)	退職給付引当金		職員の退職金支払いに備えたもの	97,369,414
固定負債合計				97,369,414
負債合計				196,726,112
正味財産				225,811,966

監 査 報 告 書

令和3年4月27日

公益財団法人安城都市農業振興協会
理事長 神 谷 学 様

公益財団法人安城都市農業振興協会

監 事 鈴 木 重 幸

監 事 林 武 宏

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会等の会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。